

## 平成 24 年度第 2 回浦安市学校給食センター運営委員会の要旨

- 1 開催日時 平成 25 年 2 月 4 日（月） 午後 10 時 15 分～午後 1 時 30 分
- 2 開催場所 浦安市千鳥学校給食センター第三調理場 2 階会議室
- 3 出席者等
  - (1) 出席 北川会長、大口副会長、小神委員、大田委員、畠中委員、畑中委員  
竹内委員、増永委員
  - (2) 欠席 7 人
  - (3) 傍聴人 なし

### 4 議 事

- (1) 浦安市千鳥学校給食センター第三調理場のビデオ紹介
- (2) 中学校用給食の喫食
- (3) 明海中学校の視察
- (4) その他

### 5 会議経過

会議に先立ち、長野教育総務部長の挨拶の後、議事に入った。概要は次のとおり。

- (1) 浦安市千鳥学校給食センター第三調理場の紹介

給食センターで作成した「安全でおいしい給食の提供を目指して」のビデオを観ていただいた。

委員からの質問は次のとおり。

- (委 員) 第三調理場は電気のみで調理する事に驚いたが、震災時になかなか再開されていないが、施設の歪みやの点検や電気の復旧に時間を要していたのか。

- (事務局) 第三調理場は震災時には建設をしており、震災当時の中学校給食は東野給食センターで運用しており、震災の影響は微小であった。

影響があったのは千鳥学校給食センターであり、建物の被害はなかったが、上下水道、電気、ガスの使用ができなかった。

電気、ガスについては 3 日から 4 日で復旧することができたが、液状化により水道管に段差が生じ、また、敷地内の下水道管や道路に敷設している下水道本管の歪みが生じていたことから水道の使用が困難であった。

給食センターは調理をする際、大量の水を使用するため、早急に復旧させる必要があり、敷地内の陥没等は春休み期間中の 2 週間で復旧、また、下水道本管も市担当課に依頼し仮復旧させて、給食の提供できなかった期間は一週間だった。

- (2) 中学校用給食の喫食

市内中学校に提供する給食の喫食を実施した。

- (委 員) 質疑及び意見無し

(3) 明海中学校視察

明海中学校1年生クラスの給食喫食状況を視察した。

委員からの意見は次のとおり

(委員) 中学生の給食の喫食状況を初めて視察させていただきました。

食べ残しについて、おかずは好き嫌いがあり今の時代は、しょうがないかと思うが、ごはんが多く残っていたのが驚きでした。

男子でも食べ残しがあり、放課後のクラブ活動でおなかが減るのではないかと思い、衛生管理上なかなか難しいが、おにぎりを作っておいてラップ等で包み、後で食べることができれば、残飯が減るのではないかと思った。

(委員) 今日は、中学1年生を見たが、学校や学年によって差がある。

以前に担任をしていた学校では全ての食缶が空になり、お替りが欲しい場合は、他のクラスから頂いた事もあり、給食のメニューによって差が出ている。

(委員) 沢山の人が関わり給食の提供をしており、感謝の気持ちを持って、嫌いなメニューでも一口は食べるよう、学校で食育指導していただければと思う。

全て残さず食べるという事でなく、嫌いなメニューでも少しでも食べ、これ美味しいと思ってもらえれば、食べ残しが減るのではと思う。

(委員) 給食センターの衛生面や栄養面で、しっかりした給食を提供していることはよく把握しているが、学校でどの様に給食を受け入れられているのか確認することができ、参考になった。

やはり食べ残しが少しでも減ればと思った。

給食は栄養摂取量を計算し提供しており、食べないと意味がなく必要な栄養摂取ができないので、学校での指導をお願いしたい。

また、新聞等で報道されており、皆様は承知していると思うが、アレルギー対応食の事故について、これまで保護者や学校も努力していたが、ちょっとした間違いで大きな事故につながってしまったので、毎日、毎日、子供達の顔を見ながら給食提供をしてもらえればと思った。

(事務局) 給食で提供する際にアレルギーを持つ子供の保護者、学校に食材一覧を配布し連携を取って給食提供をしているが、今回の他市の事故を受け、更に気を敷き締めてアレルギー対応食事業を実施し、また、アレルギー対応の注意喚起の文書を市内小中学校へ送付した。

(4) その他

特になし。